

平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	国土数値情報の整備及び更新		担当部局庁	国土政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H20～		担当課室	国土情報課		課長 神山 修		
会計区分	一般会計		施策名	40 総合的な国土形成を推進する				
根拠法令	国土形成計画法 国土利用計画法		関係する計画、通知等	国土形成計画(全国計画)(H20年7月4日閣議決定) 国土利用計画(全国計画)(H20年7月4日閣議決定)				
事業の目的	<p>国土政策の企画立案にあたっては、国土の現状及び将来の展望について、客観的かつ科学的な手法による分析を継続的に行う必要がある。</p> <p>このため、公共施設の配置、法指定区域等多種多様な情報を地理情報システム(GIS)を用いて重ね合わせて分析できるようにするデータである「国土数値情報」を全国にわたり統一した基準に即して整備している。</p> <p>平成22年度においては、災害に強い国土づくり、地域間交流の促進、観光資源の活用による地域の活性化が国土政策における重要な課題であることを踏まえ、これらに関連するデータを整備する。</p>							
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県が作成した土砂災害危険箇所の図面をもとに全国統一的なGISデータを整備 ・三大都市圏のパーソントリップ調査等結果をGISデータ化 ・全国の主要な観光資源の位置についてGISデータ化 ・3次メッシュ単位による宿泊施設の宿泊可能容量等を示すデータを整備 ・自然公園、道路密度・延長メッシュデータの更新 ・全国の行政界情報について最新時点に更新 ・平成22年度に公表された地価公示及び都道府県地価調査の結果のGISデータ化 等 							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		当初予算	95	58	112	211	332	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	95	58	112	211	332	
	執行額	76	38	90				
執行率(%)	79%	66%	81%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)	
	国民への国土に関する情報提供充実度 (国土数値情報等のダウンロード件数)		成果実績 万件	81 ※異常な集中アクセスを含む	50	52	前年度までの実績トレンドに比し現状維持または増加	
			達成度	順調	順調	順調		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	整備・更新データ数		活動実績 件	5	6	13	—	
単位当たりコスト	国土数値情報(土砂災害危険箇所)の1データレコード当たり作成費用実績 9(円/データレコード)		算出根拠	国土数値情報(土砂災害危険箇所)作成業務実績額:8百万円 データレコード数:約90万件				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	国土形成推進調査費	211	332	災害に強い国土構造への再構築に資する情報整備の実施 東日本大震災復興関連事業(119百万円)を含む				
	計	211	332					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・データ整備項目について、国土計画の策定・推進に資するデータであると共に、広く国民のニーズが高いデータを選定していく。また、優先度や緊急度の高いデータを優先して整備していく。 ・他の主体が整備しているデータと重複しないよう、引き続きデータ整備項目及び内容について精査していく。 ・データ整備業務の発注については一般競争入札としており、今後も引き続き、業務内容を仕様書に明確に規定し、一般競争入札により発注する。 ・整備したデータについては、原典資料の権利関係がある場合を除き、インターネットにて一般提供する。 		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善⑤	<p>データの品質確保の観点から、契約差金の発生等執行率が低下している原因を分析し、データの時点更新上必要な予算額を見直す。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>データの時点更新については、引き続き可能な限り効率化を図りつつコスト削減に努めるため、業者の見積もり等を十分に精査した上で所要額を計上する。 新規に整備するデータの作成については、政策上の必要性を勘案し、喫緊の課題に対応したデータに絞って、コストの削減に努めた上で所要額を計上し、そのデータを国民に広範に提供していく。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

国土交通省
90百万円

国土情報の仕様、作業手順
の指示及び業務の監督

【一般競争入札・少額随契】

A.民間企業
(7社)
90百万円

国土交通省の定める仕
様書及び作業手順に基
づくデータ作成、データ変
換、品質評価等の実施

資金の流れ
(単位：百万
円)

A.(株)パスコ			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費等	直接人件費、直接経費及び諸経費等	36			
消費税	消費税	2			
計		38	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)パスコ	国土数値情報(行政区域・地価公示・都道府県地価調査)の更新等	38	4	85.35
		国土数値情報(道路密度・道路延長メッシュ)データの更新		5	66.21
2	国際航業(株)	国土数値情報のデータ型式変換等	29	4	97.33
3	アジア航測(株)	国土数値情報(土砂災害危険箇所)の作成	8	17	44.03
4	ナカシャクリエイテブ(株)	国土数値情報(観光資源)等の作成	5	14	21.99
		国土数値情報(交通流動量)の作成		13	26.15
5	社会システム(株)	国土情報整備の検討に必要な国土政策上の課題整理	5	12	46.44
6	(株)昭文社デジタルソリューション	国土数値情報(自然公園地域)等の作成	4	6	28.64
7	東京カートグラフィック(株)	データ微修正	1	少額随契	-
		資料購入		少額随契	-